



写真は車の中からガラス越しに撮影したものである。

そばに行き構えて撮影したものではないし、また、そうするように有名な建物でもない。

今回のフィリピン出張ではマニラの南東、車で約4時間のケソン州・パグビラオの発電所を訪問した。

パグビラオに至る道沿いには、スペイン植民地時代の建物が今も数多く残る。

と言って、とり立てて特別な扱いでもなく、その土地の人々の生活のなかに渾然と存在する。

この古い教会を走行中の車の中から見つけ、気負わずに一回だけ押したシャッターのなかに、かくも、その雰囲気漂わす建物が収まっていたのだ。

フィリピンという国の、歴史の重さを感じさせる一枚でもある。